

団体名	ボランティア人形劇サークル風の子		
代表者	山内悦子	記載者	山内悦子
所在地(市区町村名のみ)	浅口市鴨方町		
活動目的	青少年健全育成と子育て支援		
団体の紹介	平成元年4月に市内の母親達が命の大切さ、愛、思いやり、母としての想いを込めた創作作品や語りついで行きたい民謡や昔話をエフロン・フアンネルンター、大型紙芝居・フラッシュ・人形劇の手法に製作し、市内外の幼・小・中・高校、各種サークル団体に公演活動を展開しているボランティアグループ。年間約20回余りの公演活動を昨市内各府よりチャリティ・ユースサポート賞を拝受する。		
助成を受けての活動内容	・年間市内外27回の公演活動を展開した。 ・最大文分の大型からくり紙芝居に布芝居に使用する効果音をつりこり、からくりにより深みをもたせる事ができ、公演先での人権学習会や、おたのしみ会等に文春役など。 ・布芝居はスクリーン(ハンタワークの背景)の文春の中に入れておいた動物達が登場し、ハンタワーク独特のぬくもりのある山々や木々、部屋の内装が温かく優しい作品になった。 ・洗濯ボールを本に1枚ずつ貼り付けると、間から来るので黒子としての動きは出来たが、園児達の参加はむずかしい。 (後で立ち位置を考え上手に参加出来るようにした。) ・木々の葉1枚ずつハンタワークなので、ハンタワークの会に指導して頂き木々を製作し、動物達も白ボールを形に綿を上手に利用し、温みを出す工夫をした。		
助成を受けての成果	・思った以上に大きいスクリーンの布に、子ども達はびっくりしてくれお話しの中に引き込まれ、とて出来、文春喜んでくれた。(新しい手法に皆公演先では喜んで頂いた。) ・大型紙芝居にくらべ、布は折りたたみやすく搬入・搬出が楽で、支柱ホールも水入れ用台なので、舞台作りがスムーズになった。		
今後の活動の課題点	・ハンタワークはともすれば良からだが、その分スクリーンが重く、動物達(特に文春)の動きが規制されるので、見る側の視線を(しっかり)考えながら立ち位置の配慮や練習が必要であると考えた。 ・より多くの幼稚園・乳幼児サークルで布芝居を公演していきたいと思っている。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	浅口市教育委員会生涯学習課 または、代表者宅		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

